



こんにちは
加藤ひろし
です

第45号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

<らしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

都の築地移転費 急増 3926億円から5500億円に

豊洲新市場整備費が約5500億円にふくれあがるのがわかりました。今後にもさらに増える可能性が指摘されています。

膨らむ費用市場会計圧迫 「移転」の方が高つく

09年2月に都は、豊洲新市場整備費は総額3926億円と発表していました。ところが13年1月になると、「建設費や土壌汚染対策費、基礎整備費が予想以上にかさんだ」と云うことで4500億円に修正しました。そのわずか1年後の今年1月に、総事業費をさらに約1000億円増やし、約5500億円に再修正しました。

事業費の急増は、市場会計の大きな重荷になり、施設利用料など、市場業者の負担をも増やすこととなります。

東京都は、「築地で再整備するより、豊洲に移転した方が安い」などと説明をしてきましたが、事実はそうでないことがはつきりしました。

市場認可の条件そろわず

「移転は決まっているので反対してもしかたがない」という声も聞かれます。しかし「新市場の開設」は、農林水産省の認可がなければできません。認可には、「土壌汚染の万全な対策」と「消費者などの理解」が条件であるという政府答弁を、日本共産党の笠井亮衆院議員が引き出しました。

豊洲の土壌汚染対策工事は、専門家が

からも欠陥工事で汚染物質は完全に除去されない」と指摘されています。また、都民・消費者の「食の安全を守れ」・「移転反対」の声は依然として強く、この状況では、農水省が認可する条件は整っていないといえます。

さらに、市場関係者からは、施設が道路によって分断されていることから「豊洲の新市場は市場として使い勝手が悪く、築地の方が効率的だ」という施設計画の欠陥も指摘されています。しかも都は昨年12月、土壌汚染対策法に基づく汚染浄化の確認(モニタリング)もせずに「安全宣言」を出し、工事着手を急ごうとしています。

税金の無駄遣い 「移転」の見直しを

豊洲新市場計画は、欠陥土壌汚染対策、建設費用の増大、市場業者への負担増など深刻な問題が山積しており、これ以上、強引にすすめるべきではありません。築地市場は大規模な再整備ではなく、老朽化対策や耐震対策等、必要最小限の整備を行えば、市場業者の負担も少なく十分に可能です。

私(加藤博司)

は、「食の安全・安心」・「築地ブランド」を守るためにこれからは、



2月15日、雪が積もる中「第42回築地市場移転反対現在地での再整備を求め」署名宣伝行動(築地交差点にて)

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党区議団ニュース

2014年2月下旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570